



2026 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)

問 合 せ 先 執行役員 長谷 学

T E L 03-5776-2785

U R L <https://www.starmica-holdings.co.jp>

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」実行に関するお知らせ

当社の中核事業会社であるスター・マイカ株式会社（以下、「スター・マイカ」）は、株式会社あおぞら銀行（本店：東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：大見 秀人、以下「あおぞら銀行」）との間で、同行が提供するあおぞら ESG フレームワークローンに基づくシンジケート方式ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「本ローン」）を組成し、本日実行されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループは、「“作る” から “活かす” 社会の実現へ」を企業理念（ミッション）に掲げ、“ヒト”・建物が高齢化する日本において、様々な問題を抱えた中古マンションの取得・リノベーション・販売活動を通じ、これらの物件を次の世代へ円滑に承継し、持続的な企業価値向上と社会課題解決に取り組んでおります。当社グループは本ローンを活用しながら、中期経営計画「Find the Value 2026」に掲げた戦略を遂行することで企業価値を最大化し、社会的責任を果たし続けてまいります。

記

1. 本ローンの背景

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「PIF」）は、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則^{*1}（以下、「PIF 原則」）及び同実施ガイドラインに基づき、企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト（影響）を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

あおぞら銀行は、融資先のサステナブルな取組みを支援する制度として「あおぞら ESG フレームワークローン」を展開する中で PIF を提供しており、同行の PIF 評価実施体制が PIF 原則に適合している旨のセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センターより取得しています。

あおぞら銀行は今般、スター・マイカにおける、事業を通じたサステナブルな社会の実現に向けた取り組みや SDGs 目標達成に対してインパクトを与える企業活動の評価を行い、評価書を作成しました。






スター・マイカは本ローンにおいて、後述の目標及び KPI を決定しており、今後、目標達成に向けた取り組みの推進と定期的な進捗状況の開示を行い、あおぞら銀行よりモニタリングと継続的なサポートを受けます。なお、決定した目標及び KPI 等が PIF 原則へ適合していることは、あおぞら銀行によって確認されております。

^{*1} ポジティブ・インパクト金融原則とは SDGs の達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として国連環境計画・金融イニシアティブにより策定された原則で、資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めています。

2. 本ローンの概要

- ① 借 入 人：スター・マイカ株式会社
- ② 借入限度額：30 億円
- ③ 実 行 日：2026 年 1 月 30 日
- ④ 貸 付 人：株式会社あおぞら銀行

3. 本ローンにて掲げる目標およびKPI^{*2}

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標（実績）	関連するSDGs
PI: 住居 包摂的で健全な経済 NI: 資源効率・安全性	<ul style="list-style-type: none">多様化する不動産購入・売却ニーズへの対応都市部の持続的発展を支える住宅循環システムの普及・定着新築・中古市場に続く第3の選択肢リノベーション市場の成長既存住宅活用による環境負荷の低減	・リノベーションマンション販売戸数	・年間リノベーションマンション販売戸数 ^{※1} 1,353戸 [2026/11期]	   
PI: 雇用	<ul style="list-style-type: none">従業員が働きがいを感じながら個々の能力を発揮できる職場環境づくりを目指す健全な労働環境を整備し、従業員の多様な働き方を支援スター・マイカ・ウェイ^{※2}の実践	・月平均残業時間	・15時間以内 [2026/11期] (2024/11期実績 14.3時間)	
		・女性マネジメント階層比率	・40%以上 [同上] (同 20.8%)	
		・年次有給休暇取得率	・75.0%以上 ^{※3} (同 79.9%)	
		・総合職の宅地建物取引士取得率	・100% ^{※3} (同 96.0%)	

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制

- ※1 直近実績については非開示
- ※2 当社グループが定める社員の行動指針
- ※3 目標時期の設定なし

以 上

^{*2} あおぞら銀行が作成した評価書より抜粋し記載しております。詳細はあおぞら銀行ウェブサイト「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス（実績および評価書）」（<https://www.aozorabank.co.jp/corp/sustainability/environment/achievement-2/>）をご参照ください。